

「岐阜大学における男女共同参画推進の取組」

岐阜大学は、平成 22 年 4 月に男女共同参画推進室を設置し、本推進室を中心として「意識改革」「女性研究者育成」「女性研究者支援」「人的資源循環支援」の 4 つの重点課題に取り組んでいます。

岐阜大学女性教員比率の数値目標を設定 一多様性人財活用推進会議での P D C A 一

○全学では 2015 年までに 17%以上に引き上げる。

- ・各部局の数値目標と達成のための取組を決定。

1. 意識改革

- (1) シンポジウム・フォーラム：「企業の成功例に学ぶ」（平成 22 年度）、「ワーク・ライフ・バランス」（平成 23 年度）、「男女共同参画大学の実現」（平成 24 年度）、「ミクロ世界の 3 体問題—私はこうして研究者になった—」（平成 25 年度）をテーマに開催。
- (2) 男女共同参画推進事業キックオフフォーラム：平成 22 年度開催。
- (3) FD：全学部（教育学部、地域科学部、医学部、工学部、応用生物科学部）との共催により 9 回実施。
- (4) 男女共同参画推進に関する講義：全学共通教育「ワーク・ライフ・バランス（男女共同参画論）」を開講（平成 24 年度～）。
- (5) 意識調査：全教職員を対象に男女共同参画に関する意識調査を実施（平成 22 年度、平成 23 年度、平成 24 年度）。2 回目の調査では介護に関する現状およびニーズを把握。

2. 女性研究者育成

- (1) 女子大学院生による出前講義：小・中・高等学校において H22 年度 1 校 2 回、H23 年度 5 校 9 回、H24 年度 5 校 16 回、H25 年度 9 校 23 回 H26 年度 6 校 13 回のべ 18 校 63 回実施し、のべ 4,865 人が受講。
- (2) ロールモデル集・ロールモデル講演会：学内の女性研究者 19 名を掲載したロールモデル集を発行（平成 22 年度）。岐阜大学出身の女性研究者 3 名を招いたロールモデル講演会を開催（平成 23 年度）。学内の教職員 16 名を掲載した Happy Life 応援 Book を発行（平成 24 年度）。「女性の就職とキャリア形成」を開催（平成 26 年度）。
- (3) キャリアアップ・カフェ・工学部での交流会：学外女性研究者を 2 名招いて実施（平成 22 年度）。工学部で先輩と後輩が研究生活を気軽に話せる交流会を開催（平成 23 年度）。
- (4) 学生アシスタント：大学院進学や研究生活について博士後期課程大学院生が相談に応じる学生アシスタント制度を実施。

3. 女性研究者支援

- (1) 研究支援者（補助員）配置制度：育児・介護中の研究者に研究補助員を 6 ヶ月間配置する制度を実施（のべ 35 名が利用、内 3 名は男性）。
- (2) メンター制度：男女共同参画推進室員がメンターとして相談に応じるメンター制度を実施。
- (3) キッズサイエンススクール・夏休みこどもガイド・カモミール子ども大学：長期休暇中の親子を支援するため教職員の子どもの対象に学内見学や体験実験等を実施。地域での夏休みのイベント等をまとめたリーフレットを発行。
- (4) 岐阜大学ワーク・ライフ・バランス応援ハンドブック：学内の諸制度や地域の子育て支援情報をまとめたハンドブックを発行（平成 23 年度）。

4. 人的資源循環支援

- (1) 人財バンク：一時休職中の女性研究者の再チャレンジを支援する人財バンクを設置（平成 23 年度）。
- (2) 特別公開講演会・セミナー開催：ネットワーク大学コンソーシアム岐阜共催により 2 回開催（平成 23 年度）。「なでしこ教養セミナー 2014」（全 10 回）を開催（平成 26 年度）。
- (3) 自治体との連携：岐阜労働局や岐阜県が発行するリーフレットの閲覧コーナーをカモミール・カフェ内に設置。近隣の市の研修会へ講師、審議会に委員を派遣。自治体等との意見交流会を実施（平成 23, 24, 25 年度）し、岐阜清流参画ネットを創設。

その他の取組

男女共同参画の推進拠点（カモミール・カフェ）の設置・運営、ニューズレターの発行（毎月）、ホームページによる情報提供（随時）等を行っている。

【連絡先】 岐阜大学 男女共同参画推進室（人材開発部職員育成課男女共同参画係）

TEL：058-293-3378 FAX：058-293-3396 E-mail：sankaku@gifu-u.ac.jp

URL：http://www1.gifu-u.ac.jp/~sankaku/

概要

本学では、多様な人材の活用こそが本学また地域を活性化するという信念のもと、性別に関わりなく個性を尊重し能力を発揮できる環境づくりを進めています。4つの重点課題として、①意識改革、②女性研究者育成、③女性研究者支援、④人的資源循環支援に取り組んでいます。

**岐阜大学
女性教員比率の
数値目標を設定**

○全学で2015年までに
17%以上に引き上げ

- 各部局の数値目標と達成のための取組を決定

内容

1. 意識改革

シンポジウムの開催



JST事業総括シンポジウム「男女共同参画大学の実現に向けて」には、138名が参加

学部共催FD・SDの開催



全学部との共催FD、職員SD、学長・理事・副学長・部局代表者を対象とした幹部FDを開催

男女共同参画に関する講義



全学共通教育講義「ワーク・ライフ・バランス(男女共同参画論)」を開設

フォーラムの開催



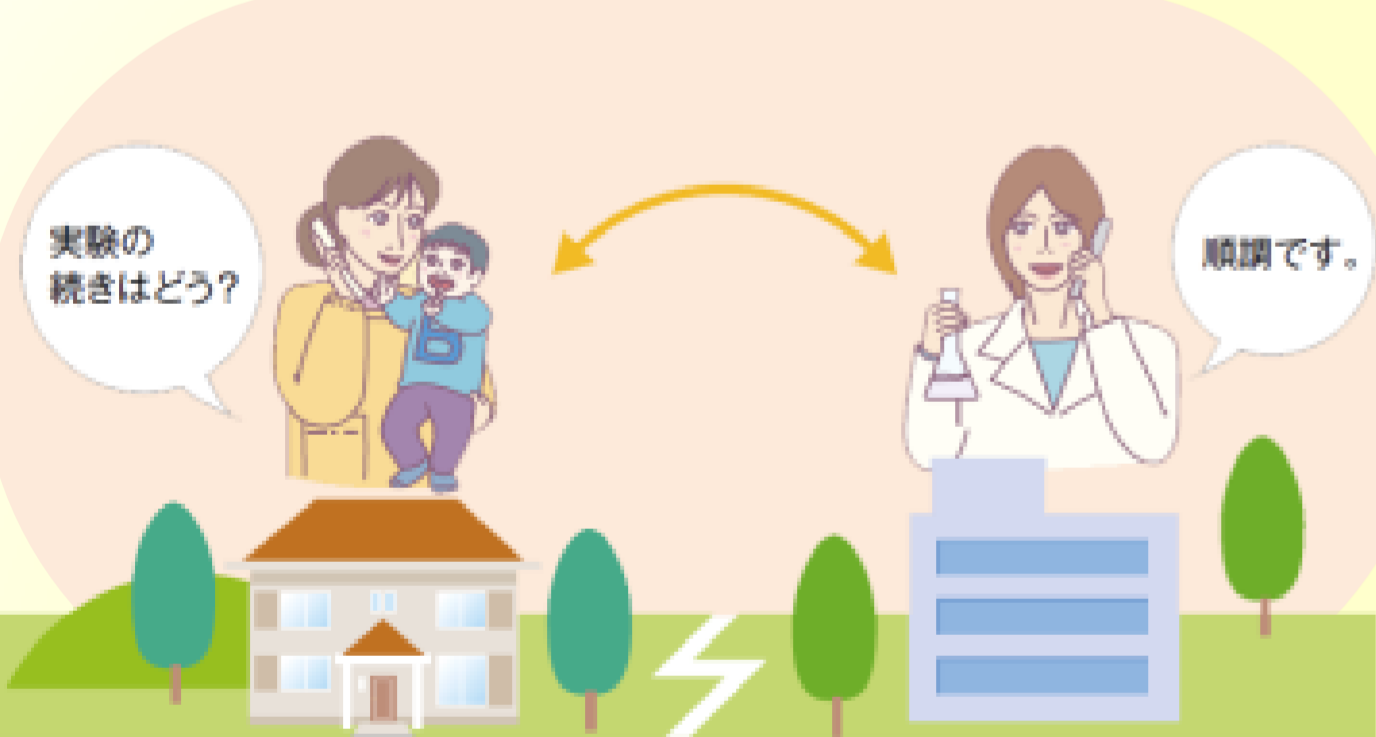
活躍する女性研究者を講師とする岐阜大学フォーラムには、約80名が参加

意識調査の実施

全教職員を対象に男女共同参画に関する意識調査を実施

3. 女性研究者支援

研究補助員配置制度



平成23年1月から実施し、延べ35名の研究者に研究補助員を配置

メンター制度

男女共同参画推進室員を中心に12名がメンターとして登録。進学や研究室選び、研究生活についての相談等に対応



岐阜大学ワーク・ライフ・バランス 応援ハンドブックの発行

出産・育児・介護の際に利用できる制度と学内の各種相談窓口をまとめた冊子を発行



在宅研究支援システムの整備

出産や育児等により研究時間の確保が困難な研究者に、学外から学内専用ホームページにアクセスできる環境を整備し、のべ14名が利用

休憩室の整備

妊娠や出産に関わる体調不良の際に女性が優先して使用できる休憩室を整備

キッズサイエンススクール・カモミールこども大学の実施



小学校夏季休業中の学童保育の一環として、教職員の子どもを対象に学内見学などを実施

夏休みこどもガイドの発行

岐阜市内の夏休み期間中のイベントや病児保育情報等をまとめた「働く親のための夏休みこどもガイド」を発行

2. 女性研究者育成

ロールモデル集の発行



ロールモデル集では、学内の19名の女性研究者、Happy Life応援Bookでは、学内の教職員16名からのメッセージを掲載

出前講義・ 発展型出前講義の実施



これまでに、18校で延べ63回実施し、延べ4,865名の生徒が受講

ロールモデル講演会や キャリアアップカフェの開催



学外の女性研究者にキャリアパスについてお話していただくキャリアアップ・カフェ、ロールモデル講演会、ランチタイムカモミールセミナー、「女性の就職とキャリア形成」を開催

工学部での交流会の開催



先輩後輩が進路や研究室での生活を気軽に話せる交流会を工学部で開催

学生アシスタント制度の運用

大学院進学や研究室選び、研究生活についての相談に学生アシスタント(博士後期課程大学院生)が対応

キャリアガイダンスの実施

男女共同参画推進室が実施するキャリア形成支援策の説明

4. 人的資源循環支援

ネットワーク大学コンソーシアム 岐阜との共催・共同プログラム



フランス、スウェーデンにおける男女共同参画の取組を学ぶ「特別講演会」を開催。岐阜大学の女性教員10名が教養講座の講師を務める「女性の活躍なでしこ教養セミナー」を開催

人財バンクの設置

研究中断中の女性を支援する「女性研究者のための岐阜大学人財バンク」を設置

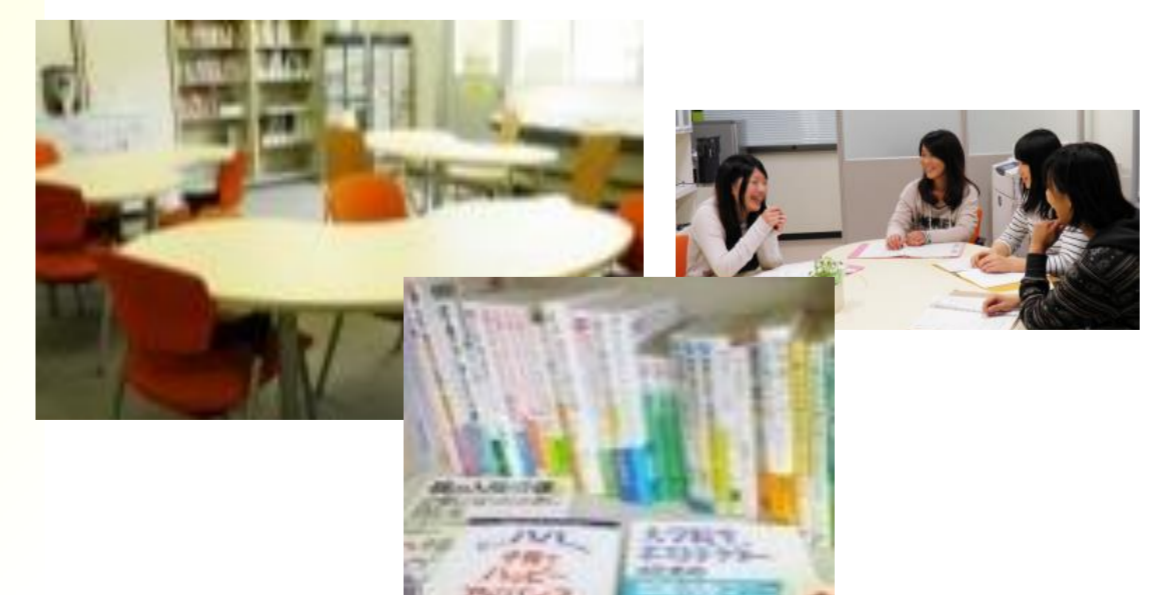
再チャレンジセミナーの開催

人財バンク登録者の再チャレンジを支援するスキルアップ・セミナーを開催

自治体との連携

自治体との男女共同参画意見交換会を開催。県や市の情報提供コーナーを設置。県主催「ぎふ女性経営者懇談会」に参加。近隣の市の研修会へ講師や委員を派遣。「ぎふ清流参画ネット」を創設

カモミール・カフェの運営



広報活動

ニュースレターやホームページに、男女共同参画推進室の活動紹介、イベントの案内や募集、各種制度や貸出図書の見出し等の記事を掲載

